

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0283
施設名	由木保育園
施設所在地	八王子市下柚木15-1
法人名	社会福祉法人 花窓堂

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

音遊び

「音って面白い！」

「色々な音の響きを感じよう！」

<テーマの設定理由>

- ・テラス遊びの際、聞こえてくる飛行機の音や鳥の声に直ぐに気が付き見上げたり指差しをして教えてくれ興味関心を寄せていた。音や鳥のさえずりを真似て楽しんでた。
- ・音にはどんな音があるのか感じたり自分でも音を出す体験を楽しんでほしいと思った。

## 2. 活動スケジュール

- ①空箱や牛乳パックを振って鳴らす(7月)
- ②新聞紙破り(8月)
- ③ペットボトルを振って鳴らす(9月)
- ④缶や色々な素材の音の違い(10月)
- ⑤タンバリン (貝殻の音)(11月)

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・空き箱・牛乳パック・新聞紙・ペットボトル・パスタ・小豆・お米・スーパーボール・ヤクルトのケース・豆腐のケース・ピーズ・豆・紙皿・缶・貝殻

#### 4. 探究活動の実践

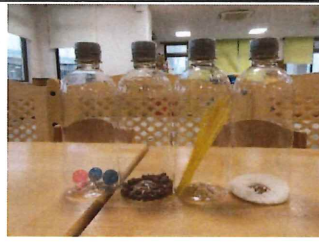
##### <活動の内容>

- ①素材の異なる物を入れ振って鳴らす。中に何が入っているか想像してみる。
- ②破くとどんな音がするかな。手にどんな響きが伝わってくるかな。
- ③素材によって様々な音の違いを感じる。
- ④缶の響きを感じる。
- ⑤貝がこすれる音を感じる。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

最初は職員の真似をして振ったり叩いたりしていたが、ペットボトルを転がしたり逆さにして落ちてくる音を発見していた。強く振る、そっと振るによって出る音の違いにも気が付いていた。「これはに？」と中身を確認し、強く振る、優しく振るを試していた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

普段何気なく聞こえてくる音に注視することで新たな驚きと発見があった。「これはどんな音かな?」「どうしたら音が出るかな?」と自ら考え、受け身でなくやってみたいという気持ちの育ちがあった。また、絵本を見て動物の鳴きまねをしたり自分でも音を出す楽しさを感じることに繋がった。少人数で行うことで子どもたちの小さな発見と一緒に共感応答することが出来た。